

取扱説明書

マッフルクリーナ

MFC2 シリーズ

JIS記号



安全にご使用いただくために

ご使用いただく上でまちがった取扱いを行いますと、商品の性能が十分達成できなかつたり、大きな事故につながる場合があります。

事故発生がないようにするためにも必ず取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解の上、正しくお使いください。

尚、不明な点がございましたら、弊社へお問合せください。

株式会社 TAIYO

〒533-0002

大阪府大阪市東淀川区北江口1-1-1

URL:<http://www.taiyo-ltd.co.jp>

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、ISO 4414※1)、JIS B 8370※2) およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。



危険：

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告：

取り扱いを誤ったときに、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



注意：

取り扱いを誤ったときに、人が傷害を負う危険性が想定されるとき、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

※1)ISO 4414:Pneumatic fluid power Recommendations for the application of equipment to transmission control systems

※2)JIS B 8370:空気圧システム通則



警告

- 空気圧機器の適合性の決定は、空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
 - 十分な知識と経験を持った人が取り扱ってください。
- 圧縮空気は取り扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは、十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- 安全を確認するまでは、機械・装置の取り扱い、機器の取り外しを絶対に行わないでください。
 - 1) 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止や暴走防止などがなされていることを確認してから行ってください。
 - 2) 機器を取り外す時は、上述の安全処置が採られていることを確認し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。
 - 3) 機械・装置の再起動を行う場合は飛び出し防止の処置を確認してから行ってください。
 - 仕様に適合した環境でご使用ください。
- 原子力・鉄道・航空・車両・医療機器・飲料や食料に触れる機器・娯楽機器・緊急遮断装置・プレス用安全装置・ブレーキ回路・安全機器など人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途や屋外で使用される場合は当社にご連絡くださるようお願いいたします。

仕様

項目 \ 形式	MFC2-10	MFC2-20	MFC2-25	MFC2-40	MFC2-50
接続口径 Rc	3/8	3/4	1	1 1/2	2
有効断面積 mm ²	35	105	160	350	585
最大処理流量 L/min(ANR)	450	1,600	3,000	6,400	10,500
消音効果 dB	32	28	32	23	22
使用温度範囲	+5~+60°C				
質量 kg	0.28	0.56	0.75	1.3	1.8
オイルミスト回収効	99.9%				

- 消音効果は圧力0.5MPaで最大処理流量を流したときのオリフィスから発生した音と、それにマッフルクリーナを取付けたときの音の差です。
(音源より1mの位置)

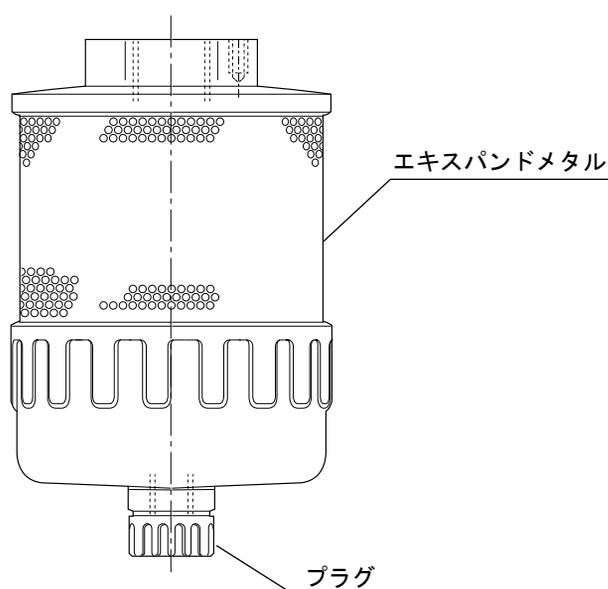
取扱要項

取付け時の注意事項

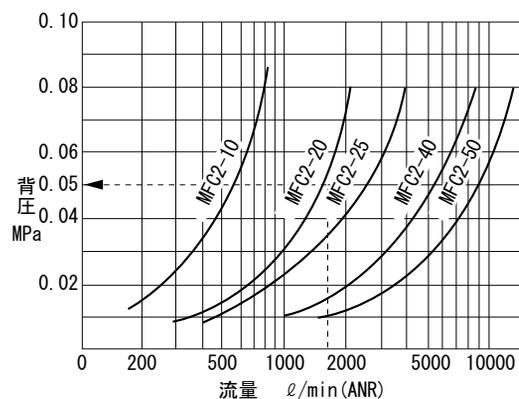
- 取付け方向は配管接続口を上にし下カバーが下となるようにしてください。
- 取り付けは、配管を固定するか、またはブラケット等を利用し、マッフルクリーナをしっかりと固定してください。
- 配管前、管内に圧縮空気(0.2~0.3MPa)を管内に供給し異物等を除いてください。

使用時の注意事項

- 最大処理流量以上は、流さないでください。
- 下カバーに油が、2/3以上溜まった場合、プラグを左に廻して油を排出してください。
- マッフルクリーナの表面(エキスパンドメタル部)に多量の油、ゴミ等が付着した場合、洗浄または新しいものと交換してください。
- シンナー・四塩化炭素・エーテル・アルコール類・アルカリなどの有機溶剤及び酸を付着させないでください。

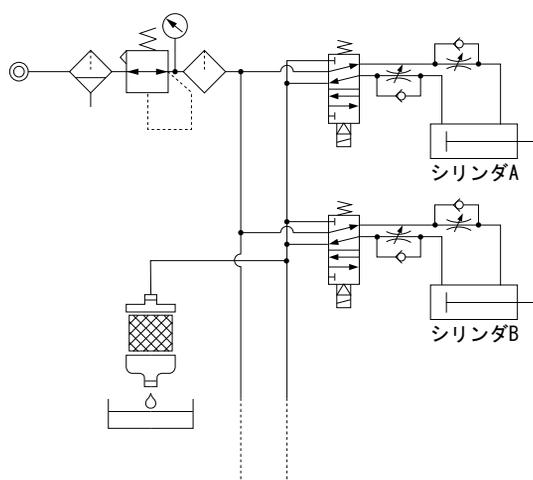


流量特性図



- ・ MFC2-20の場合1600L/min (ANR) で使用した場合、背圧は0.05MPaとなります。

使用例



マッフルクリーナは、アクチュエータ・バルブ・圧縮空気などに含まれる油分の除去と排気の消音と、1台2役をこなします。上図のように集中排気させることにより、よりいっそう、クリーンな作業環境をつくれます。